

シニア・ボランティアの方に見た プロフェッショナルリズム

三井住友信託銀行 常務執行役員
菱 田 賀 夫 CMA



昨年、関西の田舎にある生家の畑を更地にするという作業をしました。それ程の広さではないのですが、野菜、果物、花、木々、と様々なものが長年栽培されており、それなりの手間がかかります。親戚の方々にも協力を仰ぎ、総勢8名で着手する予定でしたが、直前に、シニア・ボランティアをご紹介いただき、お二人の方に助っ人をお願いしました。

当日、朝8時にそのシニア・ボランティアのお二人がお見えになりました。お二人とも70歳代後半の女性の方でしたが、その後の展開は、まさに驚きの連続。本来は、アセットマネジメントに関する話題が好ましいのだろうと思いつつ、いろいろ感じることもあり、あえて、かなり異質な話を少し書かせていただきます。

まず、冒頭お二人から、自分たちの差配でやってよいかという確認があり、お願いすると、早速総勢10名になった参加者の配置の指示がありました。それぞれ、ここからこういう感じで始めて…ということです。まずもって、その指示に驚き、どうして具体的な指示ができるのかと尋ねたところ、「最大限のパフォーマンスをあげるために（もちろん、表現は少し違い、思いっきり関西弁）」ということでしたが、当然、根拠なく指示されているわけではなく、どういう人が参加するのかを事前に